

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日
公告方法	電子公告 ※やむを得ない事由により電子公告をすることが出来ない場合には、「日本経済新聞」に公告いたします。
株主名簿管理人	http://www.mutoh-hd.co.jp 東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社 本店
同事務取扱所	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-78-2031(フリーダイヤル) 平日9:00～17:00
同 取 次 所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店および全国各支店
名義書換手数料	無 料

(お知らせ)

- ・住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求などに必要な各用紙のご請求は、株主名簿管理人の下記のフリーダイヤルまたはホームページをご利用ください。
 - フリーダイヤル 0120-87-2031 (24時間受付：自動音声案内)
 - ホームページ http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html

第59期 中間報告書
2007年4月1日から2007年9月30日まで

MUTOHホールディングス株式会社

(旧社名：武藤工業株式会社)

銘柄コード7999

人と企業の創造力を高めたい

生活や産業、社会を進化させていくのは、人間の創造力です。

人と企業の創造力を高める製品やサービスをお届けするのが、私たちMUTOHの使命。

モノづくりのプロとともに歩んできたMUTOHならではの視点から、

新しい価値の創造に貢献していきたいと考えています。



インスピレーションを、感動に

デザイナーの思いを、高画質で鮮やかに表現する。

MUTOHは、感動をひろげます。

IDEA アイデアを、驚きに

企画から設計までをITでサポートする。

MUTOHは、設計者のヒラメキを驚きに変えます。



IMAGE イメージを、共通の言葉に

設計者のイメージを「図面」という共通の言語として伝える。

MUTOHは、モノづくりへの思いを賞賛へと導きます。

基本方針

常に革新し
挑戦を続け
社会に貢献する

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに第59期中間報告書をお届けいたします。

当社グループは当期より安定した収益構造の構築を目的として会社分割により「持株会社制」へ移行し、グループの経営機能と事業執行機能を明確に分離し、それぞれの機能に集中する体制といたしました。また、本年4月には不動産の有効活用と収益改善を目的に、本社機能を東京都世田谷区から東京都品川区へ移転し、管理コストの削減とオフィスオペレーションの効率化を図るとともに旧本社ビルは賃貸オフィスとして運用を開始いたしております。

当中間連結会計期間における業績は、主力事業である情報画像関連機器事業においてグラフィック用大判インクジェットプリンタが堅調に推移したことから、連結売上高は160億92百万円（前年同期比12.2%増）となりました。

また、損益面では売上高増加要因に加え、本社移転に伴う一時的な費用増加などはあったものの費用圧縮に努めたことから連結営業利益は21億35百万円（前年同期比128.6%増）、連結経常利益は21億49百万円（前年同期比116.6%増）、連結中間純利益は11億41百万円（前年同期比111.3%増）と大幅に増加いたしました。

CONTENTS

連結決算ハイライト	1
事業セグメントの概況	
情報画像関連機器事業	2
情報サービス事業／不動産賃貸事業ならびにその他の事業	3
トピックス	4
グループ新製品情報	5
財務諸表	
中間連結財務諸表	6
株式の状況／当社グループ状況のお知らせ	8
会社の概要／役員	9

連結決算ハイライト

○連結売上高	第59期中間 16,092 百万円		
	第56期	第57期	第58期
	28,974 百万円	28,612 百万円	28,752 百万円
中間	14,690 百万円	13,751 百万円	14,347 百万円

○連結経常損益	第59期中間 2,149 百万円		
	第56期	第57期	第58期
	1,416 百万円	1,481 百万円	2,068 百万円
中間	840 百万円	748 百万円	992 百万円

○連結当期純損益	第59期中間 1,141 百万円		
	第56期	第57期	第58期
	690 百万円	△982 百万円	1,073 百万円
中間	525 百万円	△1,785 百万円	540 百万円

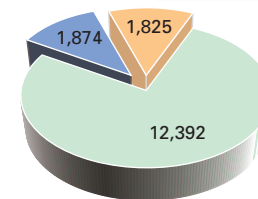
○連結総資産額	第59期中間 30,865 百万円		
	第56期	第57期	第58期
	29,464 百万円	27,683 百万円	29,723 百万円

○連結純資産額	第59期中間 19,496 百万円		
	第56期	第57期	第58期
	18,262 百万円	17,529 百万円	18,744 百万円

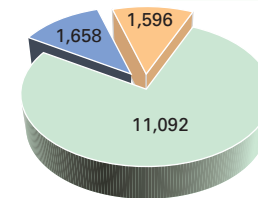
中間期事業別セグメント 売上高比率(百万円)

情報画像関連機器事業 情報サービス事業
不動産賃貸事業ならびにその他の事業

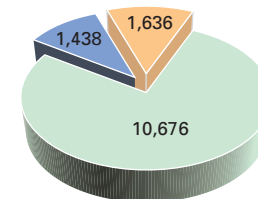
・第59期 **16,092** 百万円



・第58期 **14,347** 百万円

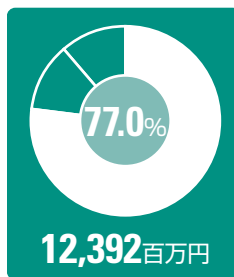


・第57期 **13,751** 百万円

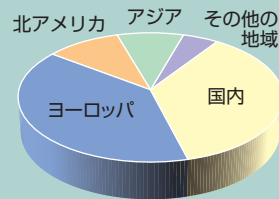


通期の業績予想	単位：百万円				
		売上高	営業利益	経常利益	当期純損益
	連結業績予想	32,500	3,600	3,700	2,150

サブプライムローン問題や世界的な原油価格の高止まりなどから景気の減速懸念はあるものの、現状のところ当社グループの経営環境に特段の変化はなく、引き続き当社グループの営業体制の見直しや事業の集約化・関連会社の統廃合など、グループ全体としての事業の効率化に努めるとともに、主力事業である情報画像関連機器事業での積極的な新製品投入など攻めの経営戦略を展開してまいります。



地域別売上高構成



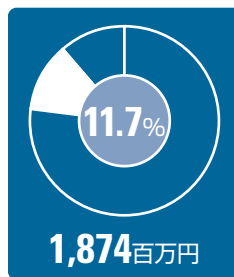
概況

大判インクジェットプリンタを中心とした情報画像関連機器事業では、グラフィック用大判インクジェットプリンタの新製品「Valuejet」を本格投入し、特に欧州市場を中心に海外市場において好調に推移いたしました。その結果、売上高は123億92百万円（前年同期比11.7%増）となりました。また、損益面では、同様にコスト効率の良い新製品の投入や為替の影響もあり営業利益は大きく改善し20億31百万円（前年同期比183.2%増）となりました。



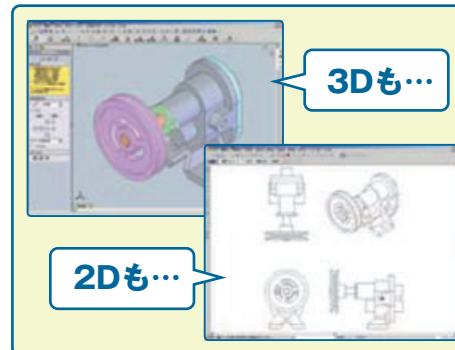
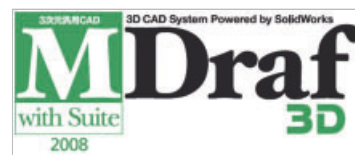
MUTOHが新たに提案する
環境配慮型インクソリューション。
制作者のイメージをそのままに
多くのマテリアルへの出力を実現します。

「MUBIO Ink」は、植物由来成分80%以上で構成される非石油系、地球環境にやさしい次世代インクです。このインクにより従来の汎用インクジェットプリンタでは不可能であった、PET、ポリプロピレン、アルミ複合板、発泡ボード類、ダンボールなど、さまざまなロール材やボード材へダイレクトプリントを可能としました。



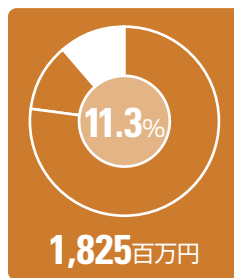
概況

システムインテグレーション・ソリューションサービス事業では新規顧客開拓など積極的な営業展開から堅調に推移しております。また、CAD用ソフトウェア事業では、採算性のよい製造業向け自社ブランドソフト「M-Draf（エム ドラフ）」シリーズに新たに3次元ソフト「M-Draf Suite（エムドラフ スイート）」を追加投入するなど、積極的な営業展開を図りました。その結果、情報サービス事業の売上高は18億74百万円（前年同期比13.0%増）となりましたが、損益面では販促費等の増加から営業利益は29百万円（前年同期比56.7%減）となりました。

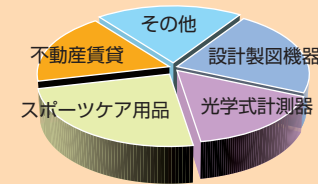


3次元CAD「M-Draf Suite」は、モデリング形状をコマンド操作だけで2次元CADへ変換できます。従来に比べ80%以上の作業時間の短縮に成功!!
コスト低減・品質向上なども可能になります。

オール・イン・ワン
CADで

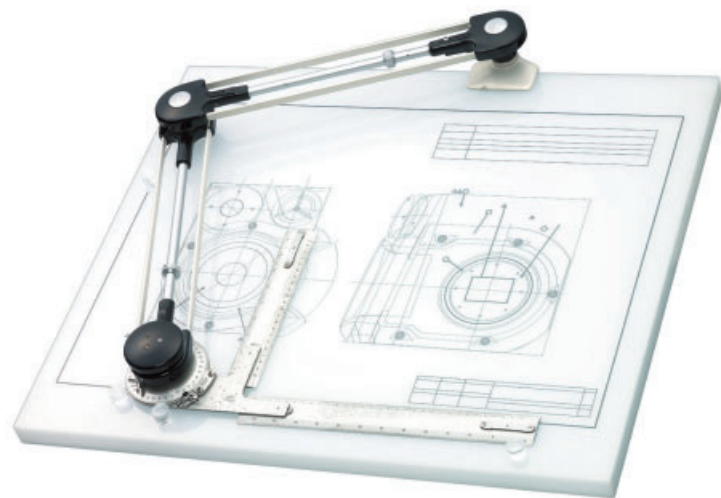


事業別売上高比率



概況

当会計期間より持株会社制へ移行したことにより当社はグループ各社の経営管理ならびにグループ不動産の運営管理を主事業としております。また、本年4月の本社機能移転に伴い旧日本ビルは賃貸オフィスとして運用を開始したことから新たに不動産賃貸事業を事業セグメントに加えました。その売上高は3億34百万円、営業利益は1億60百万円となりました。その他の事業は左図の通りで、安定した事業で構成されており、売上高は14億91百万円（前年同期比6.5%減）営業利益は96百万円（前年同期比33.2%減）となりました。



日本機械学会
「機械遺産」

(機械遺産 第21号)

万能製図機械MUTOH

『ドラフターMH-I』

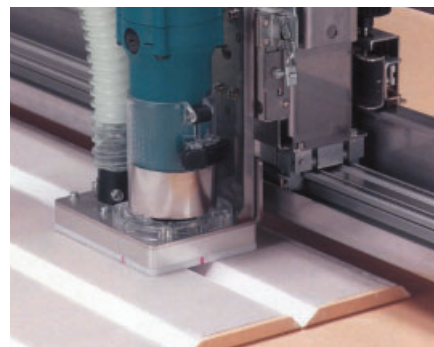
日本機械学会は2007年6月に創立110周年を迎え、その記念事業の一環として、歴史に残る機械技術関連遺産を大切に保存し、文化的遺産として次世代に伝えることを目的に、日本国内の機械技術面で歴史的意義のある「機械遺産」を認定しました。

その第1回選定機械遺産25点 (YS-11・新幹線0系…) の内の1つとして、『ドラフターMH-I』が認定されました。

日本初の設計製図機械『ドラフター MH-I』は、1953 (昭和28) 年に誕生しました。

本機の特徴として、機構は、当時、製図機器の主流であった「梯子形平行アーム式」ではなく、独自に考案した「ベルト・プリー式」を採用。

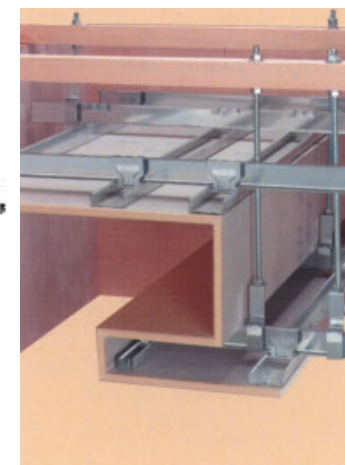
「ベルト・プリー式」ドラフターにより、平行度調整を意識する事なく、平行度を高精度に保つ事が可能となり、物作りの基本である製図という作業がより迅速に、かつ正確な作業へと躍進していったのは言うまでもありません。



今までの常識を覆す画期的ボード加工機



美しい90度Vカットを可能にしました。



ライトボードは、自然な光を放つ新光源のLED



発熱やチラツキがなく、目の疲れを抑えます。



トレース台・インテリアディスプレイ…



あらゆるシーンでご活用いただけます!!



製造販売：株式会社ムトーエンジニアリング

■ 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別	当期中間期末	前期中間期末	前期末
		平成19年9月30日現在	平成18年9月30日現在	平成19年3月31日現在
資産の部				
流動資産		19,272	19,432	17,939
現金および預金		6,850	7,990	5,819
受取手形および売掛金		6,738	6,618	6,574
たな卸資産		4,913	4,503	4,612
その他		769	319	932
固定資産		11,593	8,901	11,783
有形固定資産		9,832	7,075	9,866
無形固定資産		170	155	180
投資その他の資産		1,590	1,670	1,736
投資有価証券		723	1,092	1,015
その他		866	577	721
資産合計		30,865	28,333	29,723

(単位：百万円)

科目	期別	当期中間期末	前期中間期末	前期末
		平成19年9月30日現在	平成18年9月30日現在	平成19年3月31日現在
負債の部				
流動負債		7,468	6,303	6,712
支払手形および買掛金		4,497	3,686	4,034
短期借入金および 一年以内返済長期借入金		67	413	82
その他		2,902	2,203	2,595
固定負債		3,900	3,606	4,266
長期借入金		400	1,037	1,125
その他		3,500	2,568	3,141
負債合計		11,369	9,909	10,978
純資産の部				
株主資本		19,326	18,554	18,733
資本金		10,199	10,199	10,199
資本剰余金		4,182	4,182	4,182
利益剰余金		6,579	4,903	5,437
自己株式		△ 1,633	△ 730	△ 1,084
評価・換算差額等		△ 170	△ 441	△ 310
少数株主持分		340	309	320
純資産合計		19,496	18,423	18,744
負債・純資産合計		30,865	28,333	29,723

「株主資本等変動計算書」について

平成18年5月1日施行の会社法に伴い、「株主資本等変動計算書」が新設されました。これは、「貸借対照表」で新設された「純資産の部」の中で、主に株主の皆様へに帰属する株主資本等について、その1会計期間における変動事由と変動額をご報告するために作成する計算書類です。

■ 連結株主資本等変動計算書

当中間期（自平成19年4月1日 至平成19年9月30日）

(単位：百万円)

	株 主 資 本					評価・換算 差額等	少数株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
平成19年3月31日残高	10,199	4,182	5,437	△ 1,084	18,733	△ 310	320	18,744
中間連結会計期間中の変動額								
持分法適用会社減少に伴う減少高				3	3			3
中間純利益			1,141		1,141			1,141
自己株式の取得				△ 553	△ 553			△ 553
自己株式の処分		0		0	0			0
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額						139	19	159
中間連結会計期間中の変動額合計	—	0	1,141	△ 548	592	139	19	751
平成19年9月30日残高	10,199	4,182	6,579	△ 1,633	19,326	△ 170	340	19,496

■ 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	当中間期	前中間期	前 期
		自平成19年4月1日 至平成19年9月30日	自平成18年4月1日 至平成18年9月30日	自平成18年4月1日 至平成19年3月31日
経常損益の部				
売上高		16,092	14,347	28,752
営業利益		2,135	933	1,962
経常利益		2,149	992	2,068
特別損益の部				
税金等調整前中間(当期)純利益		2,142	946	1,901
中間(当期)純利益		1,141	540	1,073

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

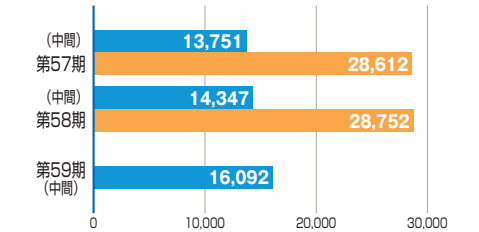
(単位：百万円)

科目	期別	当中間期	前中間期	前 期
		自平成19年4月1日 至平成19年9月30日	自平成18年4月1日 至平成18年9月30日	自平成18年4月1日 至平成19年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー		2,316	948	1,912
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 96	△ 103	△ 2,743
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 1,292	△ 198	△ 796
現金および現金同等物に係る換算差額		104	97	200
現金および現金同等物の増減額		1,030	744	△ 1,426
現金および現金同等物の期首残高		5,819	7,192	7,192
連結子会社の合併に伴う現金および現金同等物の増減額		—	53	53
現金および現金同等物の中間期末(期末)残高		6,850	7,990	5,819

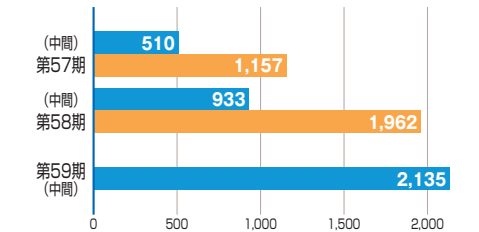
■ 事業セグメントにおける連結会社

事業区分	会社名（ ）内は持分法適用会社
情報画像関連機器事業	武藤工業(株)・(株)ムトーエンジニアリング・ムトーヨーロッパ社・ムトードイツ社・ムトーアメリカ社
情報サービス事業	武藤工業(株)・ムトーアイテックス(株)・(株)ムトーエンジニアリング・(株)ムトーメカトロニクス(株)
不動産賃貸事業	MUTOHホールディングス(株) (株)ムトーエンタープライズ
その他事業	(株)ムトーエンジニアリング (株)ムトーエンタープライズ

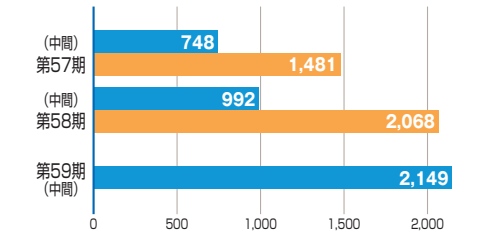
売上高の推移 (単位：百万円)



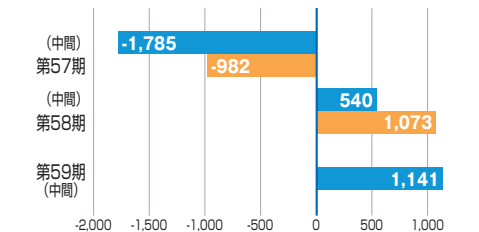
営業損益の推移 (単位：百万円)



経常損益の推移 (単位：百万円)



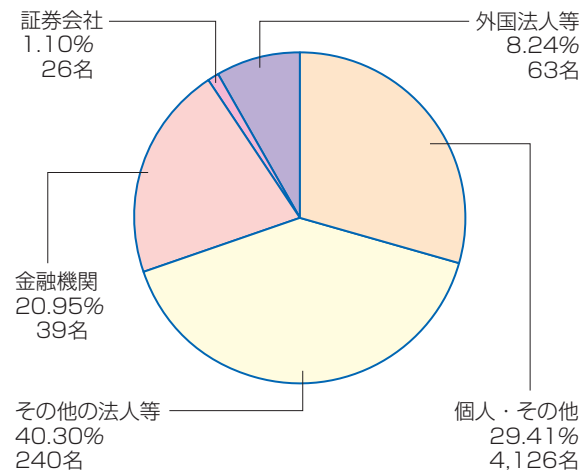
当期純損益の推移 (単位：百万円)



株式の状況 (平成19年9月30日現在)

■ 発行可能株式総数	170,000,000株
■ 発行済株式総数	54,818,180株
■ 1単元の株式数	1,000株
■ 株主数	4,494名

◆所有者別分布状況

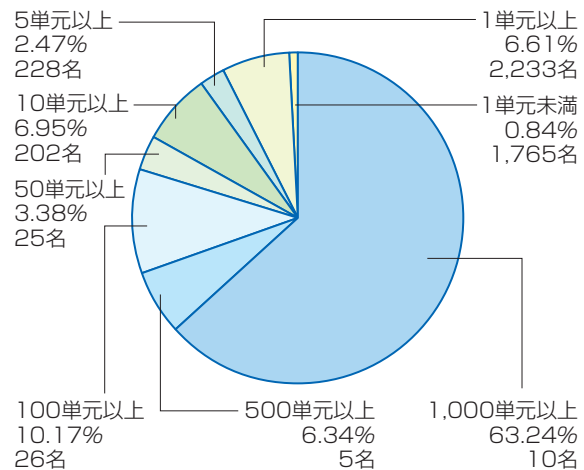


■発行済株式の総数の10分の1以上の数の株式を保有する株主

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
TCSホールディングス株式会社	13,200	26.9

(注) 出資比率は自己株式(5,766,173株)を控除して計算しております。

◆所有株式数別分布状況

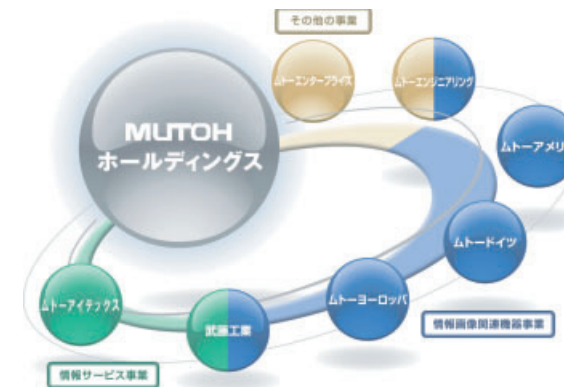


当社グループ状況のお知らせ

持株会社体制への移行に伴うグループ戦略見直しのうえで当社事業との関連性を検討した結果、平成19年7月10日付で関連会社である(株)コスモの保有全株式を同社に譲渡し、同様に平成19年7月31日付で関連会社である(株)デジタルマトリックスの保有全株式を同社に譲渡いたしました。

会社の概要 (平成19年9月30日現在)

商号	MUTOHホールディングス株式会社 (英文社名 MUTOH HOLDINGS CO., LTD.)
設立	1952年3月5日 (創業:1942年12月)
資本金	101億99百万円
本社事務所	東京都品川区西五反田七丁目21番1号 第5TOCビル Tel.03-5740-8700(代)
主な事業内容	グループ会社の経営管理及び資産管理
ホームページ	http://www.mutoh-hd.co.jp



MUTOHグループ会社

- ・武藤工業株式会社
情報画像関連機器・CAD/CAMの開発・製造・販売
- ・株式会社ムトーエンジニアリング
情報画像関連機器のメンテナンス 他
- ・株式会社ムトーエンタープライズ
スポーツケア用品販売/書籍店舗経営 他
- ・ムトーアイテックス株式会社
システムインテグレーション/アプリケーションソフトウェア開発
- ・ムトーアメリカ社 (MUTOH AMERICA INC.)
情報画像関連機器の販売
- ・ムトーヨーロッパ社 (MUTOH EUROPE N.V.)
情報画像関連機器の開発・製造・販売
- ・ムトードイツ社 (MUTOH DEUTSCHLAND GmbH)
情報画像関連機器の販売

MUTOH関連会社

- ・ムトーマカトロニクス株式会社
マカトロニクスに関わるシステムソフトウェアの開発 他

役員 (平成19年9月30日現在)

取締役会長	高山 允 伯	取締役	早川 信 正	常勤監査役	小林 明 樹
代表取締役社長	佐藤 敏 明	取締役	アーサー・バンハウテ	監査役	徳納 恭 紀
		取締役	前川 善 太郎	監査役	三橋 正 典